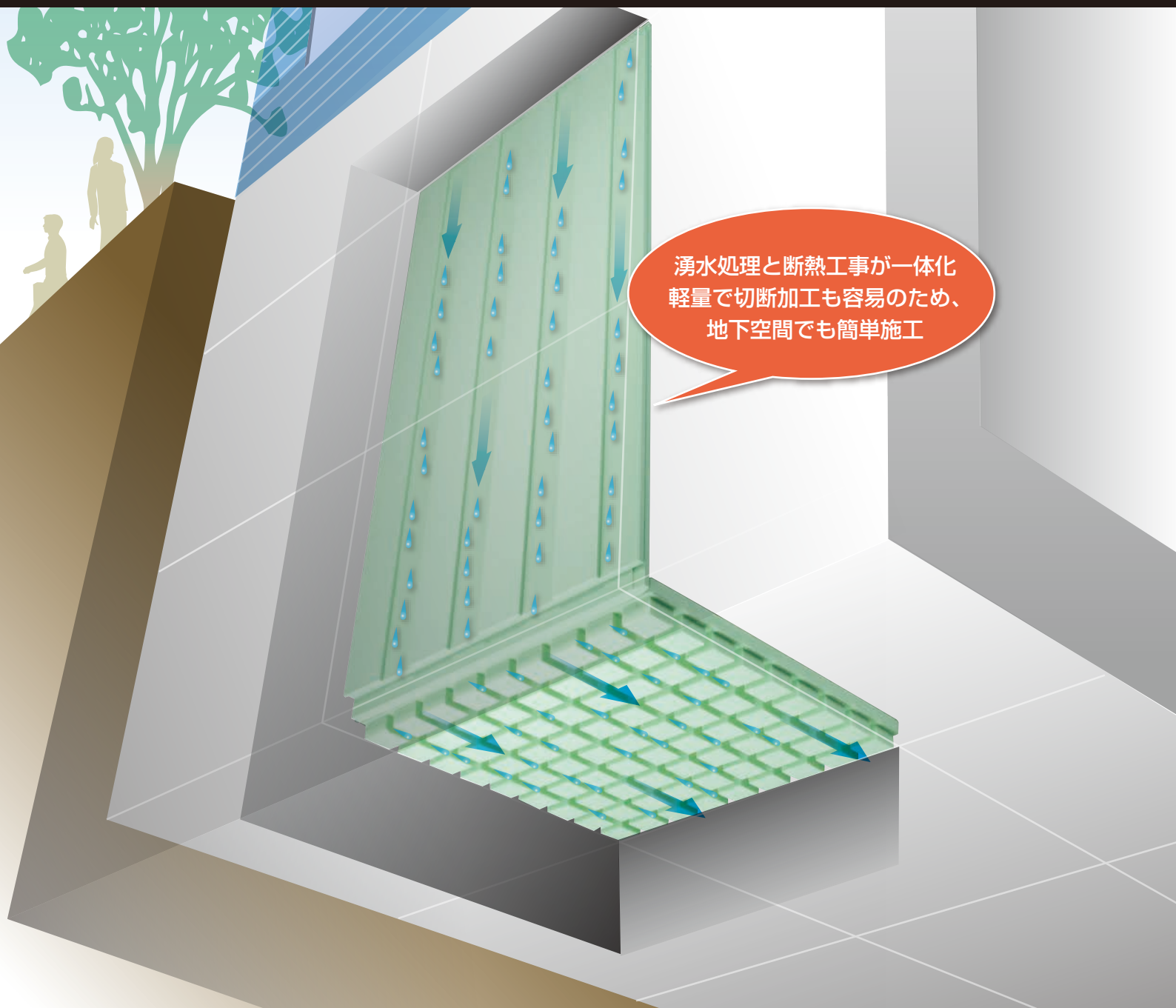
JSP

地下空間の湧水処理・結露防止

壁用 ミラクリフ®
&
床用 ミラフロー

湧水処理断熱パネル

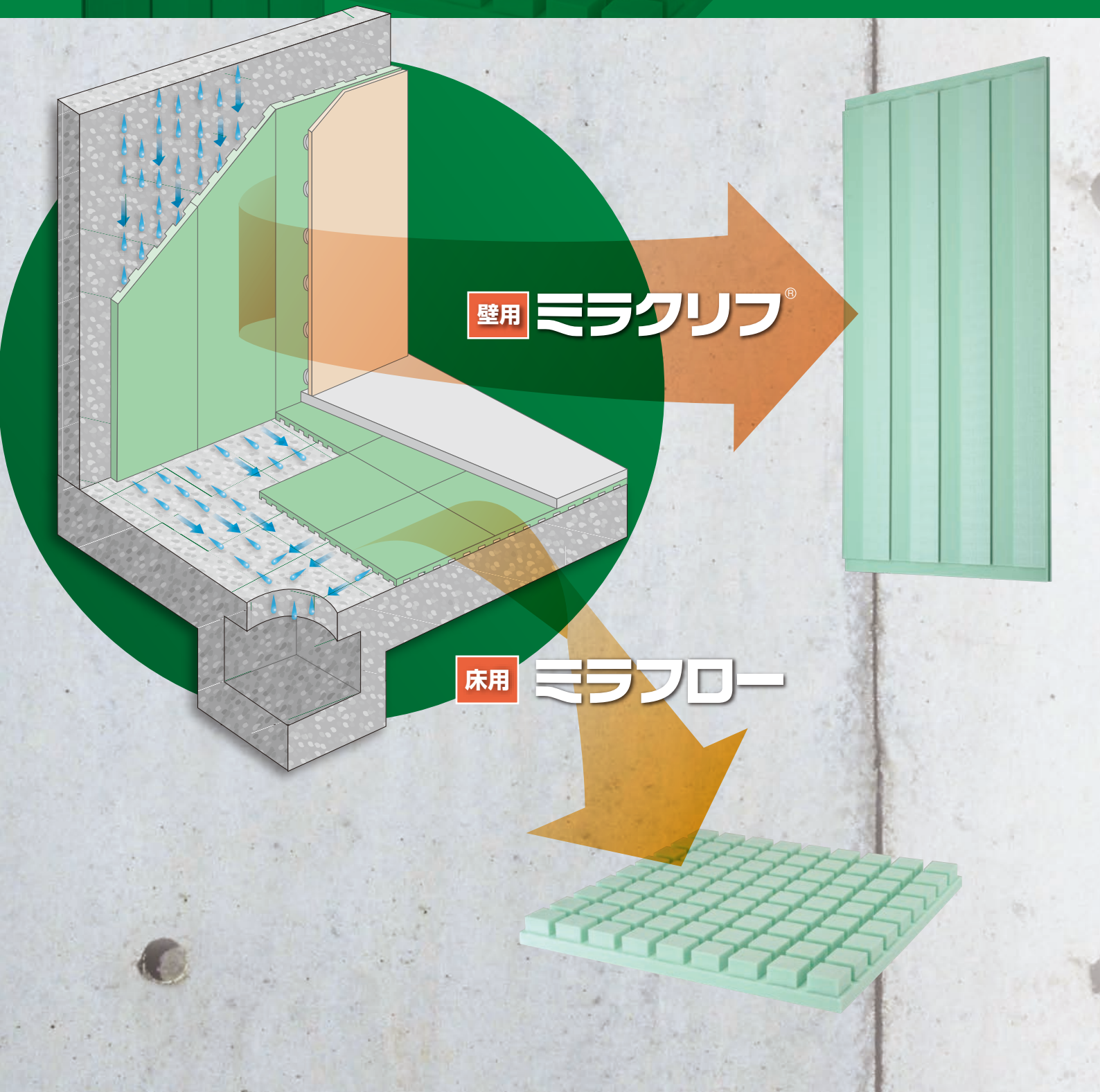


地下空間の湧水処理・結露防止

壁用 ミラクリフ®

床用 ミラフロー

- 湧水処理機能をもつ床用『ミラフロー』と壁用『ミラクリフ』を採用した、湧水対策として一般的な二重スラブ方式や二重壁に代わる画期的な工法です。
- 軽量で切断加工も容易なため、優れた施工性、工期の短縮などのメリットがあります。
- 断熱性能に優れた『ミラフォーム』を基材としているため結露防止に役立ち、快適な地下空間を生み出します。
- 地下空間を居室、電気室、機械室、倉庫など広い用途へのご利用が可能になります。
- 圧縮強度が強いため湧水処理を必要とする蓄熱槽にも使用できます。



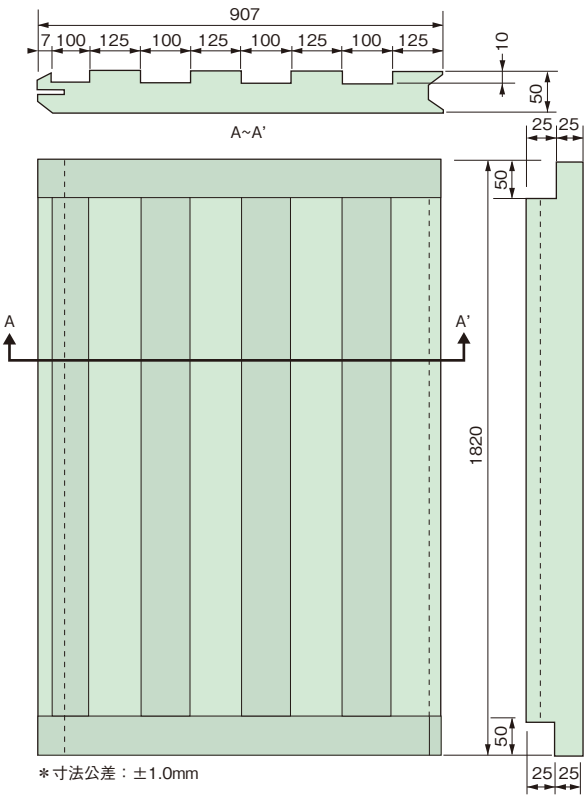
ミラクリフ（押出法ポリスチレンフォーム 3種bA加工品）の製品サイズと物性

厚さ（mm）	寸法（厚さ×幅×長さ）（mm）	熱抵抗値*3（m²k/W）	熱伝導率*4（W/m·K）	吸水量*4（g/100cm²）	燃焼性*4
50	50×907*1×600*2 50×907*1×900*2 50×907*1×1820	1.58	0.028以下	0.01以下	合格
65	65×907*1×600*2 65×907*1×900*2 65×907*1×1820	2.11			

*1　有効幅は900mm。　*2　縦目地ジョイント用。
*3　熱抵抗値は、凹凸を平均厚さに換算した値【基材：ミラフォームMKS（3種bA）】。　*4　測定法　JIS A 9521

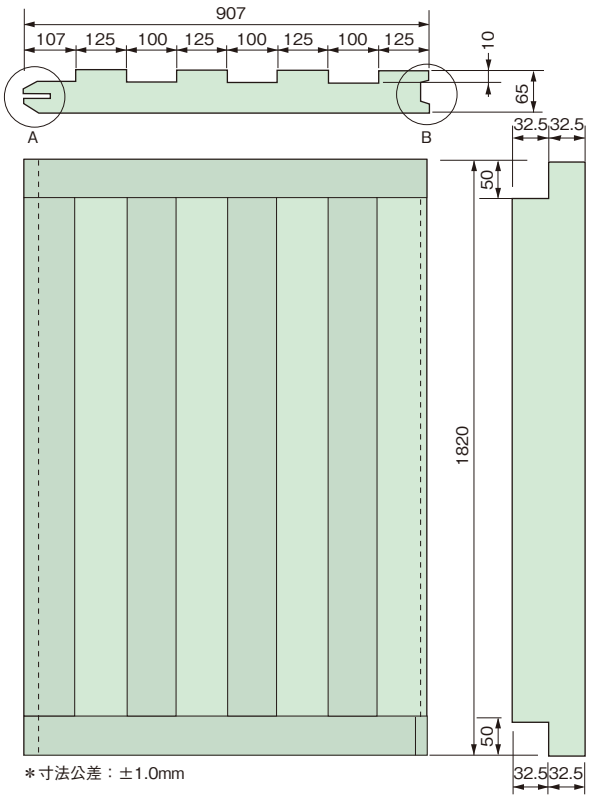
ミラクリフの製品形状

［50mm品］



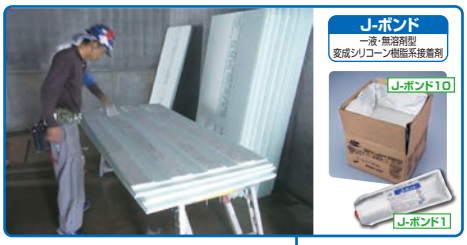
＊寸法公差：±1.0mm

［65mm品］



＊寸法公差：±1.0mm

ミラクリフの施工手順



施工部位の不陸調整・清掃 → ミラクリフのカット → 接着剤（J-ボンド）の塗布 → ミラクリフの取り付け → ミラクリフ取り付け完了 → （設計上防湿仕様の場合）ミラクリフのコーキング処理 → 完　了

●直張りに不適切な不陸は、ハツリや左官工事で下地調整する。油分、粉塵等を除去する。

●貼り合わせ部位寸法に合わせて、電動丸ノコ、手ノコ等でカットする。

●ミラクリフ裏面の凸部に接着剤を塗布。専用接着剤J-ボンドを推奨。
※J-ボンドの詳細はカタログを参照願います。

●パネル下端部の排水スペースを確保するため、床面30mm程度浮かし、下段より貼り込む。

●床取り合い最下部を除いた壁パネル末端周囲および入隅、出隅部にコーキング処理をする。

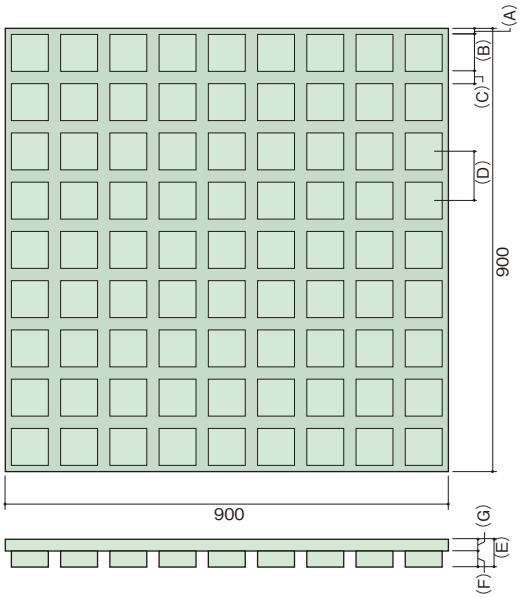
ミラフロー（押出法ポリスチレンフォーム 1種bC加工品）の製品サイズと物性

施工条件に合わせて厚さも各種取り揃え

品番	寸法（厚さ×幅×長さ）（mm）	熱抵抗値*1（m^2k/W）	吸水量*2（$g/100cm^2$）	燃焼性 JIS A 9521	圧縮強度（tf/m^2）
ミラフロー25	25×900×900	0.54	0.01以下	合格	9.0以上
ミラフロー30	30×900×900	0.65	0.01以下	合格	9.0以上
ミラフロー35	35×900×900	0.73	0.01以下	合格	9.0以上
ミラフロー40	40×900×900	0.81	0.01以下	合格	9.0以上
ミラフロー45	45×900×900	0.95	0.01以下	合格	9.0以上
ミラフロー50	50×900×900	1.02	0.01以下	合格	9.0以上
ミラフロー100	100×900×900	2.17	0.01以下	合格	9.0以上

*1 熱抵抗値は、凹凸を平均厚さに換算した値【基材：ミラフォームM1F（1種bC）】。
*2 吸水量についてはJISの基準値を引用。

ミラフローの製品形状



（A）	溝幅（端部）	12.5mm
（B）	凸部幅	75mm
（C）	溝幅	25mm
（D）	凸部芯々幅	100mm

（E）製品厚さ	（F）溝深さ	（G）平板部
25	13	12
30	15	15
35	20	15
40	25	15
45	25	20
50	30	20
100	50	50

ミラフローの施工手順

床の清掃
●粉塵等を除去する。

ミラフロー敷き込み
●溝付面を下向きに設置する。
柱廻り、端部等の異形部は形状に合わせて電動丸ノコ、手ノコ等でカットする。

マスキングテープ貼り
●床パネルのつなぎ目および、壁パネルとの取り合い部にコンクリートのノロが入らないようにマスキングテープ（布粘着テープ等）を貼る。

押さえコンクリート用配筋
●市販の断熱材用配筋スペーサーを推奨。

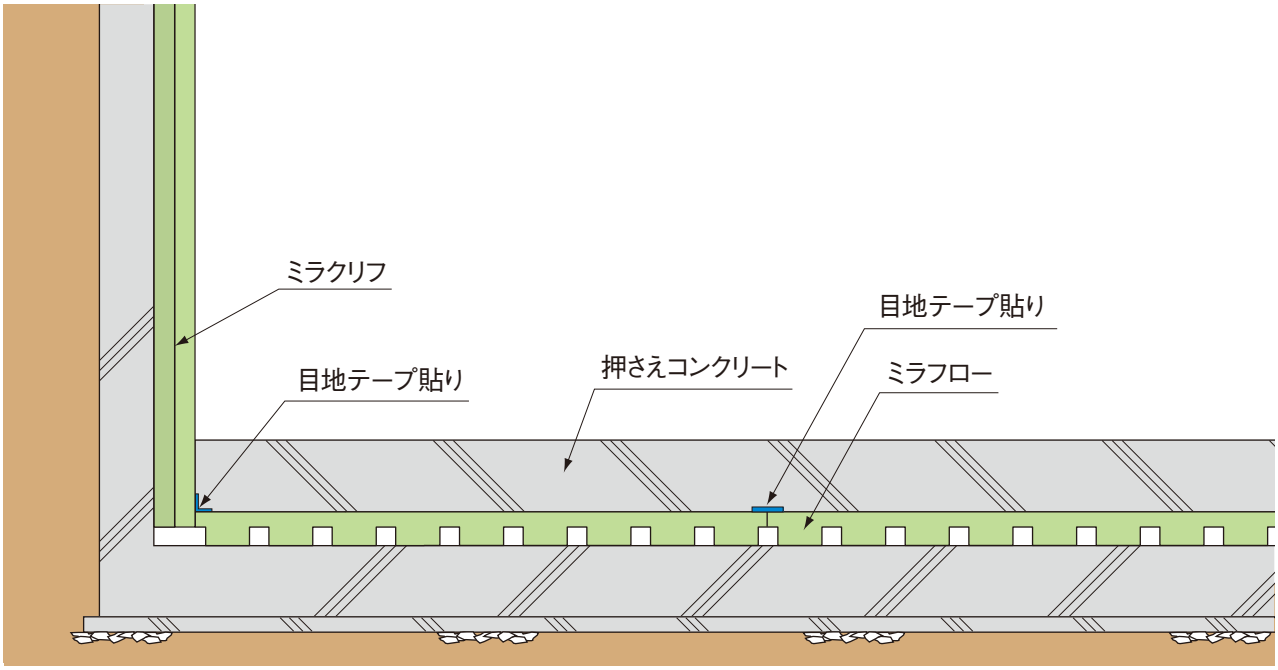
押さえコンクリート打設
●床用ミラフロー天端より100mm以上打設する。

完　了

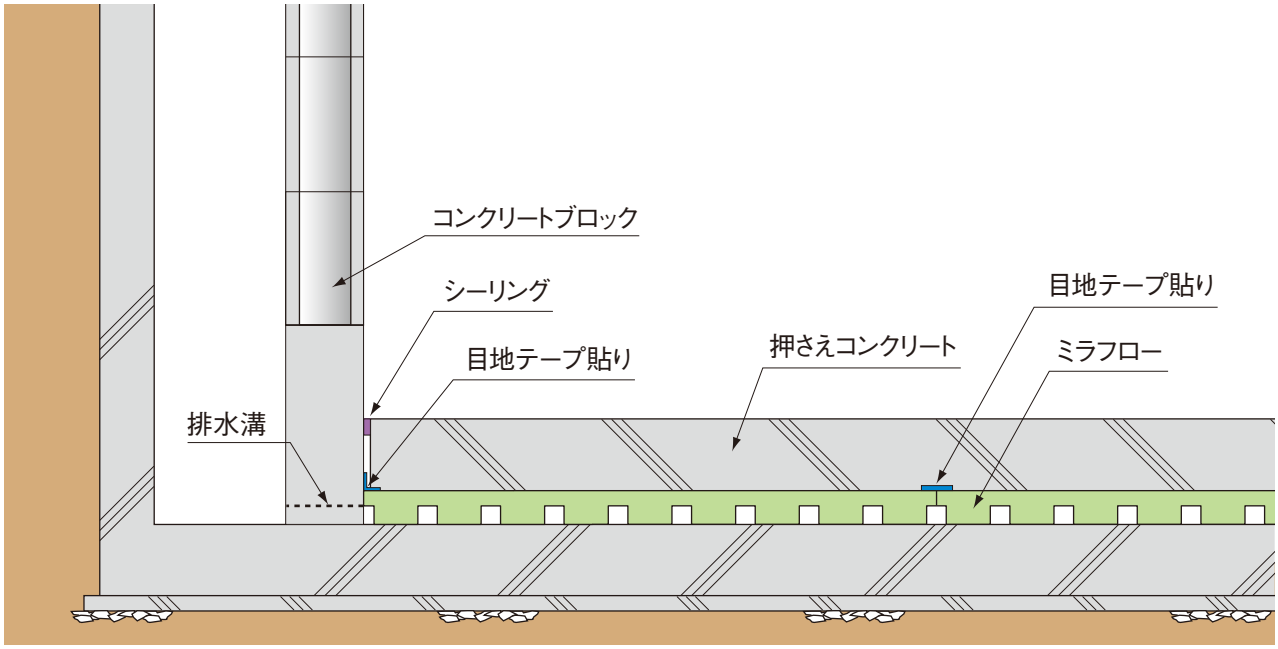
用途に合わせた施工方法。
湧き水を適切に処理し、高い断熱性を発揮します。

各種ディテール

〔ミラフロー+ミラクリフ〕納まり図



〔ミラフロー+コンクリートブロック二重壁〕納まり図



■ 設計上の注意事項

駐車場等で重量車両の乗り入れが予想される場合は、押えコンクリートの厚さ・強度の設計を行って下さい。又、長期的な荷重や集中荷重が発生する場合は、事前の強度計算に基づく検討が必要です。

■ 取り扱い注意事項

●火気厳禁（溶接厳重注意）

火気に接触すると燃えます。ミラフォームは燃えると黒煙を発生します。従って、輸送、保管、施工等に際しては火気に十分に注意すると共に、適切に養生してください。特に溶接・溶断等の火気を使用する場合、火花が当たらないように不燃シートなどで必ず養生してください。ミラフォームの酸素指数は26以上です。

●火気注意（保管・換気について）

ミラフォームに使用している発泡剤は可燃性ガスを使用しており、製品に微量残留しています。この可燃性ガスは、保管・施工中に大気中へ徐々に逸散し、空気よりも重いことから、ピットなどの掘り下げた閉鎖的な空間に滞留しやすい性質があります。可燃性ガスが滞留し爆発限界を超える状況下で火気に触れると火災や爆発が発生する可能性があります。そのため輸送・保管・施工時には火気と換気に十分注意してください。特に閉鎖空間での保管や施工に際しては、可燃性ガス（発泡剤）が滞留しないよう場所の選定や換気の意図的導入など設計・施工管理における注意が必要です。

●紫外線注意

直射日光に長時間曝すと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さの減少等の原因になりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。

●有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、接着剤、塗料等の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。

●高温注意

使用温度は70℃以下です。直射日光等による急激な温度上昇や多湿状態では70℃以下でも変形が起こる場合があります。
養生シートで覆う等、高温多湿状態にならないようご注意ください。

●割れ・踏み抜き注意

局部圧縮や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地のない箇所には乗らないでください。

●強風注意

軽量で取扱が容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は注意してください。また、保管に当たっては飛散防止処置をしてください。

●その他の注意

(1)フォームの屑が目に入った場合は、こすらず流水で洗浄してください。
(2)熱線スライス等、煙の発生する作業を行なう場合は、換気を十分行なってください。
(3)燃やすと黒煙（スス）がでますのでご注意ください。（廃棄の際は条例に従って処理してください。）
(4)鳥、鼠、昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や餌にはなりません。

以上の注意事項に関しては、一般的な取り扱いを対象としたものです。それ以外の使用に関してはお問い合わせください。

株式会社 JSP 建築土木資材事業部　ホームページ　www.co-jsp.co.jp

東日本建材営業部
札幌営業所 〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1（サンメモリアビル） TEL 011-231-2681（代） FAX 011-231-7850
仙台営業所 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1（青葉通パークビルディング） TEL 022-262-3271（代） FAX 022-266-9583
東日本建築グループ 〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-2（新日石ビル） TEL 03-6212-6362 FAX 03-6212-6369
西日本建材営業部
名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6（桜通大津第一生命ビル） TEL 052-962-3225（代） FAX 052-962-3252
大阪営業所 〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16（いちご堺筋本町ビル） TEL 06-6264-7903 FAX 06-6264-7913
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17（Totsu Biz Hakata Frontビル） TEL 092-411-6863 FAX 092-474-2706
工場 北海道工場、鹿沼工場、関西工場、九州工場

お問い合わせ

VEGETABLE OIL INK このカタログは再生紙を使用しています。

2026.11.0000